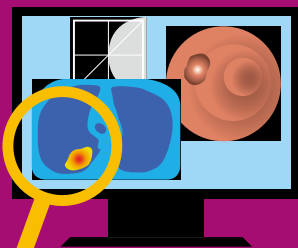


特集

これからの がん対策



保健師に求められる役割

昨年12月、がん対策基本法が改正され、第3期がん対策推進基本計画も公表された。がん対策を取り巻く状況が大きく変わる中で、現場の保健師がどのように関係機関と連携し、課題に取り組みばよいか、事例を交えて紹介する。

- 第3期がん対策推進基本計画のポイント
- 健康増進事業報告から見た、がん検診の精度管理
保健医療福祉計画データウェアハウスの活用
- がん検診の効果的な個別受診勧奨
受診勧奨用資材の開発と提供による自治体のがん検診受診率向上対策支援
- 働く人のがん検診受診向上への取り組み
山形県庄内保健所の実践から
- がん医療・緩和ケアの地域診断と地域連携の推進
富山県新川厚生センターの取り組み
- 高濃度乳房の通知に関する考え方
米国、厚生労働省、学会、川崎市の取り組み
- がんと診断された時からの相談支援
三重県がん相談支援センターの取り組み